

No. 1675

五輪へ向けて

——女子柔道——

12月7日文部省で世界柔道選手権で優勝した女子の田村亮子選手、男子の岡田、中村兄弟の4選手が赤松良子文相からスポーツ功労者の顕彰を受けました。

赤松文相は「YAWARAちゃんが私より背が小さいとは」と驚いた様子。田村選手が「これからも稽古に励みます」と選手を代表して御礼の言葉をのべました。また選手を育てたコーチに対しても表彰状が送られました。

12月14日、帝京大学の八王子キャンパスで新設される女子柔道部の記者会見が田村選手をはじめ新入部員14人も出席して行われました。

沖永総長は「女子柔道の発展のために考えた柔道部の新設が実現の第一歩を踏み出した。国際色豊かな世界に通じる立派な柔道部にしたい」と述べれば、田村選手も「大学での目標はオリンピック。皆さんの期待に応えるよう金メダルをとりたい」と早くもアトランタ五輪への抱負を語りました。

3月には1億円の道場、3億円の合宿所が完成します。五輪に向けて女子柔道を背負っての活躍ぶりを期待したいものです。

サンパウロV2

——トヨタカップ——

クラブ世界一を決める第14回トヨタカップが12月12日東京・国立競技場で南米代表ブラジルのサンパウロと欧州代表イタリアのACミランの間で行われました。

前半19分白いユニフォームのサンパウロ、カフー選手のセンタリングをバリーニャ選手が走りこみシュート。1:0とリード。地元サンパウロから来た応援団も大喜び。その後両チームともチャンスを生かせず無得点で前半を終了。

日本のサッカーブームのキッカケを作ったと言われるゲームだけにスタンドは超満員。後半3分ACミランがゴール前のハイボールをマッサロ選手のスライディングシュートで同点に追いつきます。

サンパウロも14分レオナルド選手からのセンタリングをセレゾ選手が右足に合わせてゴール。2:1と再びリード。ACミランも36分ババン選手がヘディングシュートをきめ2:2の同点。しかしサンパウロは41分セレゾ選手からのパスを受けたミューレ選手がゴールキーパーとぶつかりながら右足かかとでのシュートがゴール。3:2と逆転。

結局、ACミランの史上初3度目の優勝を阻み昨年につづいて南米のサンパウロが2年連続2度目の王座に着きました。